

第6節 まとめ

本節では、本講座のプログラム開発における本年度の取り組みであるカリキュラム開発について述べた。

第1節では、開発の概要について説明し、さらにeラーニングとスクーリングを組み合わせたブレンディッドラーニング形式にて運営することを確認した。また、学習目的により知識学習とスキル学習の両方を行うこととし、最後にテストや終了に関する「評価方法」を具体化した。

第2節では、第2章で提示した調査の結果を分析し、受講者像を「現場マネージャ」と「人事採用マネージャ」に具体化し、学習区分を「現場マネージャ対象科目」、「人事採用マネージャ対象科目」、「共通科目」の3つに分類した。また、対象企業像についても具体化し、主要なターゲットとなるのは「外国人材活用を検討または継続していきたいと考えているゲーム等のコンテンツ業界の企業」であることを確認した。さらに、調査結果から外国人材雇用の課題を抽出し、学習テーマを確認することで学習科目検討の具体化に役立てた。

第3節では、カリキュラム開発に知見を与える事例集、書籍、研修、セミナーの事例を収集し、その内容や学習項目を学習科目具体化の参考とした。

第4節では、外国人材に伝わりやすい日本語のコミュニケーションに役立てるため「〈やさしい日本語〉」の概念について概説し、書籍、教材、研修の事例を調査することでその重要性を確認した。

第5節では、カリキュラム策定として第2、3、4節で集めた知見を活用し、学習科目を具体化して科目一覧表を提示した。